

全国大学人権教育交流会

第53回 企画

《研究会のご案内》

テーマ

人権教育としての性教育

～若者の性をつまずきの実態をふまえた、性教育のあり方を考える～

性教育は、性についての責任ある選択ができる知識・スキル・価値観を身につけるための教育です。人権教育と極めて親和性の高い教育で、暴力的な性関係から心身を守る力を育てることも非常に大きな課題となっています。

しかし、日本の小中高等学校において、そのような視点に基づいた実践がおこなわれている例は極めて少ないのが現状です。

研究会では、大阪の高校現場から高校生達の性をつまずきと支援例を報告いただきます。

さらに、研究者から性教育の世界水準（ユネスコ等による「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」）を紹介いただくとともに、それを日本の学校教育にどのように取り入れていくかについて問題提起をいただきます。

○開催日：2019年8月25日（日）13時～17時（受付は12時30分～）

○場 所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1004教室（10階）

大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー内

Tel : 06 - 6485 - 5611 http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

(1) 問題提起 (30分)

大阪府立高校養護教諭よりレポート「性につまずいた生徒への支援例」

(2) 現状認識の共有 (25分)

大阪府立高校養護教諭による対談「高校生の性をつまずきの実態と課題」

(3) 実践報告 (20分)

ある高校の性教育実践の紹介（1年生夏休み前に、学年集会として実施する性教育プログラムと生徒の反応の紹介）

(4) 休憩 (15分) …質問メモ回収

(5) 質疑応答、意見交換 (30分)

(6) 研究者（^{うしとら}良香織さん・宇都宮大学 准教授）より問題提起

（講演90分、質疑応答20分）

「人権教育としての性の学びへ

～国際セクシュアリティ教育ガイダンスをどう活用するか？」

研究者のプロフィール

良 香織（うしとら かおり）さん

宇都宮大学教育学部准教授

専門：性教育、人権教育、最近は戦争孤児の戦後史に取り組んでいる

“人間と性”教育研究協議会幹事

著書

『国際セクシュアリティ教育ガイダンス-教育・福祉・医療・保健現場で活かすために』

（共訳、明石書店、2017）

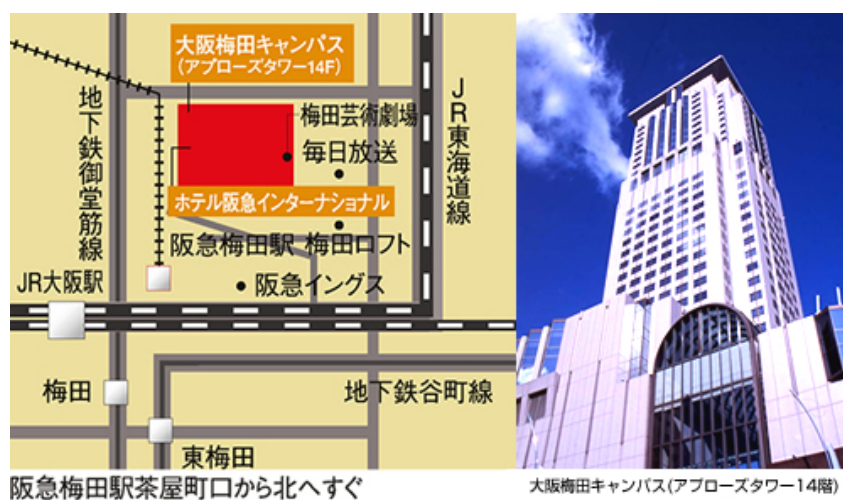
『性教育はどうして必要なんだろう？ - 包括的性教育をすすめるための50のQ&A』

（共編著、大月書店、2018）

『教科書にみる世界の性教育』（共著、かもがわ出版、2018）

『ハタチまでに知っておきたい性のこと』（共著、大月書店、2017）

<会場案内>



○当日、参加費として1000円いただきます。（学生は無料）

○準備の都合上、参加予定の方はできればメールにてご連絡ください。当日参加もできます。

Mail アドレス g_jinken@yahoo.co.jp

詳細は全国大学人権教育交流会のホームページをご覧ください。
<http://zdaigakujinkenkyoikukoryukai.web.fc2.com/>